

1 次の表1は、1950年以降の火力、原子力、水力などによる日本の発電量を、また、表2は、1970年以降の日本のエネルギー資源の産出量と輸入量を表しています。次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。なお、表中と文中のXとYは同じ発電を示し、(①)～(③)は、同じエネルギー資源を示します。

表1
日本の発電量 (単位 百万kWh)

(年)	火力	原子力	水力	X	Y	合計※
1950	8482	—	37784	—	—	46266
1960	57017	—	58481	—	—	115498
1970	274782	4581	80090	85	—	359538
1980	401967	82591	92092	871	—	577521
1990	557423	202272	95835	1741	—	857272
2000	669177	322050	96817	3348	109	1091500
2004	747069	282442	103147	3374	1307	1137341

※年度によっては、他の発電もわずかながらふくみます。

「表とグラフでみる日本のすがた 2006」より

表2
(①)の産出量と輸入量

(年)	1970	1980	1990	2000	2004
産出量 (単位 万 t)	3833	1810	798	313	134
輸入量 (単位 万 t)	5095	7271	10484	14505	17998

(②)の産出量と輸入量

(年)	1970	1980	1990	2000	2004
産出量 (単位 万 kl)	90	50	63	74	83
輸入量 (単位 万 kl)	19582	25683	22876	25058	24340

(③)の産出量と輸入量

(年)	1970	1980	1990	2000	2004
産出量 (単位 百万 m ³)	2359	2197	2044	2453	2883
輸入量 (単位 千 t)	—	16324	35627	53581	50169

「表とグラフでみる日本のすがた 2006」より

第二次世界大戦後、経済の安定とともに産業が発達し、a日本の電力の消費量は、年々増加し続けています。1950年を見ると、b水力発電が主流であった電力割合は、1960年代には、火力発電が主流になってきました。

火力発電の燃料は、それまでの国産の(①)にかわり、c外国からの安い(②)が増えました。しかし、1970年代になると、2度の共通した出来事により、この(②)の値段は高くなりました。そのため1980年代には、(①)や(③)を外国から輸入し、燃料として利用するようになりました。

現在は、発電方法も火力だけにたよらない政策に変化し、d原子力やXやYなどによって発電が行われています。また、この発電以外にも新しい方法による発電の研究も進んでいます。

問1 表2と文中の空らん(①)～(③)にあてはまるそれぞれの資源名を答えなさい。

問2 下線部aの日本の電力について、誤っているものを下記より1つ選び記号で答えなさい。

- ア 電気を売ることができるのは、電力会社だけです。それ以外の会社は、電気を売ることができません。
- イ 電力会社によっては、消費量の少ない夜間に料金を安くするプランなどを設定しています。
- ウ 家庭用の太陽光発電設備で発電された電気は、電力会社に販売することができます。
- エ 環境に優しい太陽光発電設備の設置には、自治体によっては補助金ができることがあります。

問3 下線部bについて、水力発電には、ダムを利用するものが多く見られます。下記のそれぞれのダムから流れ出た水が注ぎ込む湾や灘^{なだ}として誤っているものを1つ選び記号で答えなさい。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ア 大井ダム（木曽川水系） | →伊勢湾 |
| イ 佐久間ダム（天竜川水系） | →遠州灘 ^{えんしゅう} |
| ウ 小河口ダム（多摩川水系） | →東京湾 |
| エ 黒部ダム（黒部川水系） | →富山湾 |
| オ 奥只見ダム（阿賀野川水系） | →鹿島灘 ^{かしま} |

問4 下線部cについて、日本が（ ② ）の資源の輸入を最も依存している地域を下記より1つ選び記号で答えなさい。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| ア ヨーロッパ | イ 西アジア | ウ 東南アジア |
| エ アフリカ | オ 南アメリカ | |

問5 下線部dについて、表1を見ながら原子力発電の説明として誤っているものを下記より1つ選び記号で答えなさい。

- ア 原子力発電は、火力発電と違って二酸化炭素を出さないで、地球温暖化防止に役立ちます。
- イ 原子力発電所は、大量の冷却水^{れいきゅうすい}を必要とするため、海岸や大規模な河川沿いに建設されます。日本では、海岸部に集中しています。
- ウ 日本の原子力発電量の割合が最も多い地域は、燃料のウランが産出される北海道です。
- エ 原子力発電所からでる使用済みの燃料は、新たな燃料として再利用することが可能です。
- オ 電力会社が故障をかくしていたことがわかり、多くの原子力発電所が運転を停止したため、2004年度の原子力発電の割合は減少しました。

問6 次の図1は、表1と文中のXの発電所の分布（2003年）を表しています。この発電所の自然的立地条件を解答用紙のわく内で答えなさい。



図1

問7 次の写真1は、表1と文中のYの発電施設です。この発電は、近年、環境にやさしい発電であると注目されています。この発電の問題点や立地条件の制約について、下記の語句を使用して、句読点も含め30字以内で答えなさい。選択した箇所には下線を引くこと。

小さく

建設



写真1

〈このページは空白です。〉

2 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。

私は志望校を決めるために、実際に学校の雰囲気^{ふんいき}を味わってみようと思い、文化祭の見学に行きました。

さまざまな企画の中でまずエコロジーレポートという文字が目にとまり、その教室に入ってみました。3Rと書かれたポスターが中央に貼^はられていました。どんな意味だろうと思ってよく見ると、「再利用すること、もう一度そのままの形で使うこと、(①) こと」と書かれていました。この教室では、生徒と保護者がそれぞれ3Rに取り組み、あるものを回収していることを紹介していました。

a 生徒が回収しているあるものは、つぶしやすい形に作られたり、まわりの包装^{ほうそう}が邪魔^{じゃま}になるのでラベルに切り込みを入れて、簡単にはがせるように作られたり工夫されています。

また、展示物の中に保護者が実施しているあるものの回収に関する注意書きがあったので、よく読んでみました。「回収品はその学校で使用するもの、クリーニングや洗濯^{せんたく}済みのもの、後日展示会を開いて回収品を配布する。」と書かれていました。保護者には大変好評だそうで、生徒の成長著しい時期ですからなるほどなと感心しました。さすがに、教科書・楽器はb 指定された回収品の項目には入っていませんでした。

次に入ってみた企画はディベートの教室でした。他の学校との招待試合^{しょうたいしあい}でしたが、「日本はレジ袋を廃止すべきである。是か非か。」という論題で行われていました。レジ袋とは買い物などで、商品を運ぶために街の商店やスーパー、コンビニから受けて持ち帰る手提げ袋のことです。それぞれ肯定側とc 否定側に分かれ論戦を繰り広げましたが、わずかの差で肯定側の勝利となりました。

校内を歩いていると至るところに複数のゴミ箱が置かれ、そのゴミ箱も透明のゴミ袋を使うなど中が見えるような工夫がなされていました。私はこれを見て、あることを思い出しました。d 東京の地下鉄では、駅のホームで一時期ゴミ箱が撤去^{てつきょ}されていましたが、この学校と同じ工夫と、駅係員が常時監視できるように改札口付近にゴミ箱を置くことで、ゴミ箱を復活させたのです。

もう一つ興味を持った企画があります。2006年という看板^{かんばん}にひかれ中に入ってみると、1年間を振り返るものでした。私は2006年と言えば、「e 皇室に男子が生まれ

たことと、f 小泉純一郎内閣が終わったこと」をイメージしたのですが、この部屋の展示を見ると他にも多くのできごとがあったことを思い出しました。

例えば、「(1) 記録的な豪雪により、国連に災害救助活動を求めPKOが初めて日本に派遣^{はけん}されました。」「(2) G8となってロシアで初めてサミットが開かれました。」「(3) 海王星が太陽系の惑星から除外されることになりました。」「(4) 北朝鮮が核実験を行い、国連の安全保障理事会は制裁決議^{さいざい}を採択^{さいたく}しました。」などです。

文化祭も終わりの時間が来ました。出口に向かうと、生徒たちがg ゴミ処理をしている姿が目に入りました。予想外にもゴミの量が少なく、学校全体で3Rに取り組んでいることがここでも感じられました。h ゴミ処理業者も何台ものトラックを用意し、分別回収を行っていました。

私は今回の文化祭見学により、学校全体で一つのテーマに取り組むことの大切さを知りました。また、環境問題に対する生徒の意識の高さと行動力を体感することができ、この学校をより一層受験^{いっそう}したくなりました。

問1 文中の空らん(①)にあてはまる語句を答えなさい。

問2 下線部aの再利用の例としてあてはまらないものを下記より2つ選び記号で答えなさい。

- ア ポロシャツ イ ガラス ウ ゴミ袋
エ タイヤ オ ポールペン

問3 下線部bを具体例をあげて答えなさい。

問4 下線部cの否定側の主張を解答用紙のわく内で答えなさい。

問5 下線部dについて、なぜ駅のゴミ箱が撤去されたのですか。その理由を前後の文章を参考にして解答用紙のわく内で答えなさい。

問6 下線部eについて説明した文のうち正しいものを下記より2つ選び記号で答えなさい。

- ア 皇位継承^{こういけいしやう}については、法律で定められています。
- イ 皇位継承にも日本国憲法の平等権があてはめられ、女性にも認められています。
- ウ 皇位継承者の決定は、国民投票によって国民が判断します。
- エ 現在の皇位継承者の第一位は皇太子殿下^{こうたいし でん か}です。
- オ 海外の王室では女性が王位を継承している例はありません。

問7 下線部fについて説明した文のうち正しいものを下記より2つ選び記号で答えなさい。

- ア 現職の首相として終戦記念日に靖国神社^{やすくに}を参拝しました。
- イ 郵便局をはじめとし、日本道路公団、日本国有鉄道の民営化を実現しました。
- ウ アジア外交を重視し、特に中国との友好を深めました。
- エ 歴代の中で最年少で首相に就任しました。
- オ 内閣支持率が高かったので、およそ5年半の間、内閣を維持しました。

問8 下線部gについて、地方公共団体がゴミ処理を行う以外に扱っている仕事を下記より2つ選び記号で答えなさい。

- ア 罪^{つみ}を犯してしまった人を裁^{さば}っています。
- イ 飲食店の営業許可を出しています。
- ウ 日本人が海外で安心して暮らせるために、その国の代表者と交渉^{こうしやう}を行っています。
- エ 駅の周辺に駐輪場を設置するなど暮らしやすい環境づくりにつとめています。
- オ 災害発生時の救助活動や他国からの侵略^{しんりやく}に対して、日本の平和と安全を守っています。

問9 下線部hについて、そのうちの1台のトラックが積^つんでいったゴミの種類を以下の文章を参考にして下記より1つ選び記号で答えなさい。

あるゴミ箱の回収に清掃員が来ました。近づくとひどい臭^{にお}いがしましたが、清掃員の方は気にすることなくそのゴミをトラックに積み込みました。最後にそのトラックはメタン発酵^{はっこう}処理施設と書かれた場所に入っていました。

そういえば私の家には電気で処理するそのゴミの処理機があります。その機械を使って出た処理物は、肥料として家庭で再利用が可能だとお母さんが教えてくれました。こういった取り組みが全国に広がっていけば、ゴミ問題の解決につながると思いました。

- ア 新聞紙 イ 生ゴミ ウ 空き缶 エ 紙パック

問10 波線部(1)～(4)のうち正しいものはいくつありますか。数字で答えなさい。ただし、すべて誤っている場合は0と答えること。

3 日本の土地制度について時代別にまとめた A～C の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。

A 古代の土地制度

大和政権の時代、土地は大王と呼ばれた天皇の一族や、中央や地方の有力な豪族たちが支配していました。この制度が大きく変化するきっかけとなったのが、
a 当時、実権をにぎっていた蘇我蝦夷、入鹿親子を攻め滅ぼした事件でした。その翌年に出されたのが「改新の詔」です。

- ・皇族や豪族が個別に持っていた土地と人民を国の所有とする。
- ・地方は国と郡に分け、国には国司、郡には郡司を置いて支配する。
- ・戸籍、(①) を作って人々に田を分けあたえる。
- ・新しい統一的な税制を行う。 [改新の詔・日本書紀]

こうして天皇中心の中央集権国家であることが宣言され、すべての土地や人民を国が直接支配することになりました。

しかし、この土地制度は、奈良時代に入るとうまくいかなくなっていました。そこで朝廷は、723年、新しい土地制度を考えて発表しました。しかし、これもうまくいかず、743年には墾田永年(②)法という画期的な法が出されました。これは新しく開墾した土地の私有を永久に許可するというものです。その結果、経済力をもっていた、貴族や大寺院が荘園と呼ばれる私有地を持つようになりました。

平安時代に入ると、c 国司が力をつけて、厳しく税をとりたてる者があらわれました。

- ・朝廷が定めた以上の税を取り立てます。
- ・かんがい用水の修理費や、災害が起きた時に使われる米を支給してくれません。
- ・国司の元命は京都にいたので、郡司や百姓の訴えが通じません。

[(③) 国の郡司や百姓らの訴え]

また、身分の高い貴族などの荘園は、税をおさめなくてよい権利や、国司の立入りをこばむ権利を持つようになりました。朝廷は荘園の数をおさえようとしたが、地方の豪族たちは、藤原氏などの有力貴族や大寺院に寄進をして、自分は管理者として荘園を支配するようになりました。やがて、(④) が始まると荘園は上皇(法皇)の周辺に、そして、平氏政権の時代は平氏一族に、荘園がたくさん寄進されました。

- ・平清盛の妻の弟、平時忠は「この一門でない者は人ではない」とさえ言った。
- ・平家の知行国(収益を平氏一族が得られる国)は30余国で全国の半数を占めている。
- ・その他、平家の荘園、田畑は数知れないほど多い。 [平家物語]

問1 下線部aについて、誤っているものを下記より1つ選び記号で答えなさい。

- ア 蘇我氏が聖徳太子の子、山背大兄王を追いつめて自殺させるなど、横暴ぶりが目立ってきたことが背景にありました。
- イ この事件の中心人物は、中大兄皇子と中臣鎌足でした。
- ウ この事件の後、はじめて大化という年号が定められました。
- エ この事件が起きた時の天皇は、女帝の推古天皇でした。

問2 下線部bについて、この法令の名前を解答用紙のわく内で答えなさい。

問3 下線部cについて、文中の史料「(③) 国の郡司や百姓らの訴え」も参考にして、誤っているものを下記より1つ選び記号で答えなさい。

- ア 徴税の方法が変わり、国司は決められた税を朝廷に送れば、残りを自分のものにすることができるようになりました。
- イ 摂関政治が始まると、朝廷は地方の政治を国司にまかせきりになりました。
- ウ 国司の不正が増えてきたので、それを取り締まるために、朝廷は検非違使という新しい役職をつくりました。
- エ あまりにも横暴なために、郡司や農民から朝廷に訴えられた国司もいました。

問4 下線部dは、平氏一族がいかに繁栄しているかをあらわした有名な言葉ですが、1167年に太政大臣になった平清盛は、荘園や知行国を増やすこと以外に、さらに権力を高めるために藤原摂関家と同じあることをしました。このあることを25字以内で答えなさい。

問5 Aの文章中の空らん(①)～(④)に入る言葉について、誤っているものを下記より1つ選び記号で答えなさい。ただし、すべてが正しい場合は、オと答えなさい。

- ア 空らん(①)には計帳という言葉が入ります。
- イ 空らん(②)には私財という言葉が入ります。
- ウ 空らん(③)には三河という地名が入ります。
- エ 空らん(④)には院政という言葉が入ります。
- オ

B 鎌倉時代～安土桃山時代の土地制度

平氏政権が崩壊した後、新しい政権の樹立をめざした源頼朝は、e国ごとに守護、荘園・公領には地頭を任命する権利を獲得しました。そして、土地の給与を通じて、御恩と奉公の関係で結ばれる(⑤)制度が確立しました。鎌倉幕府は土地については、朝廷の支配権を尊重していましたが、1221年の(⑥)の乱の後、地頭がさかんに荘園を侵略するようになり、荘園領主との土地争いがたくさん起こるようになりました。

- ・何かというときにつかわれるので領主さまに納める木材を切るひまがありません。
- ・「逃げ出した百姓の畑に(⑦)をまけ」と命令し、「(⑦)をまかないと女や子供をとらえて耳を切り鼻をそぎ、髪を切って縄で手足をしばっていたためつけるぞ」とせめられます。(阿氏河荘の農民の訴え)

1333年、鎌倉幕府が滅亡し、後醍醐天皇の政権が2年あまりで失敗すると、足利尊氏が別の天皇(北朝)をたて、(⑧)に移動した後醍醐天皇(南朝)と対立しました。この戦乱の中で守護の権限が大きくなり、f今度は守護による荘園侵略が進み、やがて領主となって守護大名に成長するものがあらわれました。

1467年、京都を中心に応仁の乱が発生しました。11年続いた戦乱の結果、足利将軍家の権威が失われ、実力のある守護大名や、守護大名を倒した家臣や地方武士たちが、g戦国大名となって領国を支配するようになりました。

織田信長の統一事業を引き継ぎ、応仁の乱以降、約100年続いた戦国時代を統一したのが豊臣秀吉でした。h秀吉は、新しい土地支配の制度として、太閤検地を実施しました。そして土地支配者である大名たちの領地の大きさを石高であらわし、その石高に合わせて、戦いの時の兵力(軍役)を決めました。

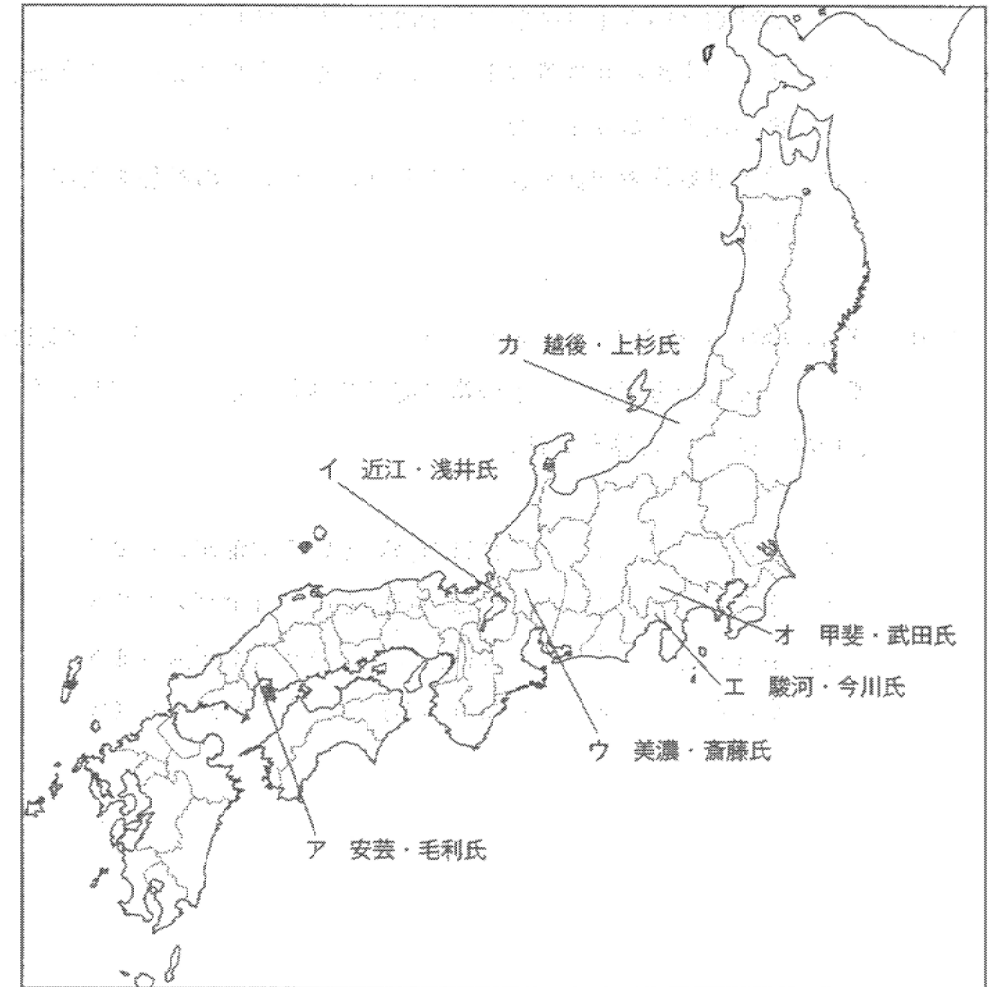
問6 下線部eについて、誤っているものを下記より1つ選び記号で答えなさい。

- ア 守護は国ごとに1人を原則として置かれました。
- イ 御家人が地頭に任命されることは、頼朝（鎌倉殿）からの御恩の1つでした。
- ウ 守護は収入が多いので、御家人たちはこぞって就任を希望しました。
- エ 守護と地頭の設置を、朝廷から許可されたときは、頼朝はまだ征夷大將軍ではありませんでした。

問7 下線部fについて、誤っているものを下記より1つ選び記号で答えなさい。

- ア 守護は、荘園や公領の年貢の半分を取る権利を得たことによって、国内支配を強化していきました。
- イ 有力な守護が、「執権」と呼ばれた將軍の補佐役の地位を、交代でつとめました。
- ウ 荘園領主は、やがて年貢の徴収を、守護に請け負わせるようになりました。
- エ 守護大名によって、殺された將軍がいました。

問8 下線部gについて、下記の地図に指し示す国を本拠地とする戦国大名家のうち、守護大名出身の家2つを選び記号で答えなさい。



問9 下線部hについて、誤っているものを下記より1つ選び記号で答えなさい。

- ア 実際に検地を行う役人が、土地の面積や様子を調べました。
- イ 荘園制という土地制度が完全になりました。
- ウ 1つの土地の耕作者は1人で、領主も1人だけということが、土地支配の原則となりました。
- エ 農民は耕作権が保証されたかわりに、戦いへの参加を義務づけられました。

問10 Bの文章中の空らん（ ⑤ ）～（ ⑧ ）に入る言葉について、誤っているものを下記より1つ選び記号で答えなさい。ただし、すべてが正しい場合は、オ と答えなさい。

- ア 空らん（ ⑤ ）には 封建 という言葉が入ります。
- イ 空らん（ ⑥ ）には 承久 という言葉が入ります
- ウ 空らん（ ⑦ ）には 麦 という言葉が入ります。
- エ 空らん（ ⑧ ）には 吉野 という地名が入ります。

C 江戸時代から近現代の土地制度

江戸時代に入ると、秀吉以降の土地政策を基本として、全国を幕府領と大名領（藩）に分けて、i 将軍家と大名の力で、土地と人民を支配する体制（幕藩体制）が作られました。そして身分別に、いろいろな決め事が作られ、特に、j 税を負担する農民を、厳しく取り締まりました。農民の生活は、決して楽ではありませんでしたが、この将軍を中心とした土地制度は、この後も260年以上続きました。k 明治時代になると、政府は、土地の私有と売買を法律で認める近代的な土地所有制度を定めて地租改正に着手しました。しかし、農民の負担は、江戸時代と変わらなかったため、政府に対する一揆が起きたりしました。生活が苦しい小作人や農家の次男や三男は鉾山などに、娘は製糸工場などに^{でかせ}出稼ぎをして、家計を助けました。

1945年、l ^{ポツダム宣言}を受諾して連合軍に降伏すると、GHQ（連合軍総司令部）により農地改革の指令が出されました。これにより地主の所有地は制限され、多くの農民が自作農に変わりました。

問11 下線部iについて、大名は幕府から土地を分け与えられましたが、武家諸法と度により種々の統制を受けることになりました。以下の法令は三代将軍家光の時代に定められたものです。

一、大名は、領国と江戸に交代に住むことを定める。毎年四月中に江戸に参勤せよ。 寛永12年6月

この法令を出した目的は、一つは将軍への忠誠を確認することでしたが、それ以外の目的について解答用紙のわく内で答えなさい。ただし、経済力という語句を必ず使用し、使用した箇所には、下線を引くこと。

問12 下線部 j) について、誤っているものを下記より 1 つ選び記号で答えなさい。

- ア 五人組をつくらせ、年貢の納入や犯罪について責任を負わせました。
- イ 実際に田畑を持たない農民を、水呑百姓みずのみひきしやうといいます。
- ウ 村の運営のための話し合いを談合だんごうといいます。
- エ 田畑を売ることは厳しく禁止されていました。

問13 下線部 k) について、地租改正は土地制度の改革であるとともに、もう 1 つの **目的** がありました。この内容を解答用紙のわく内で答えなさい。ただし、**安定**という語句を必ず使用し、その使用した箇所には、下線を引くこと。

問14 下線部 l) について、次の 2006 年 8 月 24 日の朝日新聞に書かれていた文章の一部を読んで、下記の設問に答えなさい。

神奈川県湯河原町に重光葵記念館がある。次男の篤が 6 年前に別荘を改築して開いた。重光は 1945 年 9 月 20 日、東久邇内閣の外相として政府を代表し、東京湾上の米戦艦ミズーリ号で降伏文書に署名した。

小さな記念館で、一つだけ記念品を売っている。降伏調印の日に詠んだ歌を、重光自らが (注1) 揮毫したものである。

願くは 御国の末の 栄え行き 吾名 (注2) さげすむ 人の多きを

降伏調印は不名誉な役だったろう。なのに歌は、あえてその不名誉を引き受ける (注3) 気概きがいさえ感じさせる。「おやじは、敗戦で (X) と思ったようです」。館長の篤は言う。

だが翌年 4 月、A 級戦犯として逮捕され、Y 東京裁判で禁固 7 年の判決を受ける。

時は移り、56 年 12 月 18 日。重光は鳩山内閣の外相としてニューヨークの国連本部にいた。この日、国連総会で、日本の加盟が全会一致で可決された。悲願だった国際社会への復帰である。採決のあと、重光は謝辞と演説のため壇上

に歩んだ。

(中略)

義足の重光がつえに頼って (注4) 登壇する姿は痛々しく見えた。だが演説には、平和への真剣な思いが込められていた。「日本は東洋と西洋のかけ橋になる」「Z 国際連合の (注5) 崇高な目的に誠実に奉仕する」。議場は大きな拍手に包まれた。

(注) (注1) 揮毫：書画を書くこと (注2) さげすむ：見下げる

(注3) 気概：ものごとに屈しない強い意志

(注4) 登壇：壇に登ること (注5) 崇高：尊く、気高いこと

(1) 文中の空らん (X) にあてはまる語句を、前後の内容を参考にして、下記より 1 つ選び記号で答えなさい。

- ア やっと、頂点を極めることができた
- イ ようやく、『始まり』にたどりついた
- ウ これですべてが『終わり』になってしまった
- エ うまく連合国にだまされてしまった

(2) 下線部 Y について、誤っているものを下記より 1 つ選び記号で答えなさい。

- ア この裁判の正式名称は、極東国際軍事裁判といます。
- イ この裁判は、連合国側が、日本の指導者の戦争責任を追及したものです。
- ウ この裁判は、GHQ の指名した日本人の裁判官が判決を下しました。
- エ この裁判では、戦前の日本の首相をつとめた人も死刑になりました。

(3) 下線部 Z について、国際連盟との違いを侵略国に対する制裁の違いがわかるように解答用紙のわく内で答えなさい。

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522

2
2025

問 3 問 4 問 5

6
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525
 526
 527
 528
 529
 530
 531
 532
 5

.....

130

2

問1			
問2			
問3			

4 型

.....

52

.....

9

問7		
問8		
問9		
問10		

3

問 1	問 2	問 3
-----	-----	-----

[illegible]

(25)

問7	
問8	
問9	
問10	

問12

100

34

.....

問14

(1)	(2)	
-----	-----	--

(3)

受除番号	氏名
------	----

